

植物遺伝資源探索導入調査報告書

通卷第19卷

平成14(2002)年度

平成15年3月

独立行政法人 農業生物資源研究所 編

編集

ジーンバンク

植物資源研究チーム

河瀬眞琴

石井卓朗

江花薫子

福岡修一

小島洋一朗

Edited by

Makoto KAWASE,

Takuro ISHII,

Kaworu EBANA,

Shuichi FUKUOKA,

Yoichiro KOJIMA and

Plant Genetic Resources Laboratory

Genebank

まえがき

平成 13 年，農林水産省傘下の農業試験研究機関の独立法人化にともない，新しい農業生物資源研究所が設立された．遺伝資源の事業と研究を専ら行う組織としてジーンバンクと遺伝資源研究グループがそれぞれ設けられ，新しいジーンバンク事業の推進体制が確立された．また，8 年間にわたるジーンバンク事業の第二期事業は平成 12 年度で終了し，平成 13 年度からは新しく 5 年計画の第三期事業が開始された．

植物遺伝資源に関わる国際情勢に目をやると，平成 4 年 5 月にリオデジャネイロで「生物多様性に関する条約」が採択され翌年には発効し，世界全体で生物多様性の保全と持続的利用に取り組むことが定められた．遺伝資源についてもこの条約の枠組みの中で議論が重ねられ，誰にでも利用が可能な人類共通の財産という以前の考え方から原産国に主権があり責任をもって管理するという考え方に大きくパラダイムシフトした．これは先進国の主導による遺伝資源の管理に対する反発や，育種家の権利ばかりでなく遺伝資源を長年育ててきた農民の権利が強く主張されるようになったことによる．平成 14 年 4 月にはオランダで第 6 回締約国会議が開催され、「遺伝資源へのアクセスとその利用から生じる利益の公正で公平な配分に関するボンガイドライン」が採択された．また，FAO では「食料農業植物遺伝資源に関する国際条約」が平成 13 年 11 月にローマで採択され，植物遺伝資源のうち，イネなど 35 作物 29 牧草種のアクセスとその利用から得られる利益配分について定め，食料農業植物遺伝資源の利用と権利保護を図られた．本条約の署名期間はすでに終了し，現在，加盟に開かれている．このような国際的状況は遺伝資源の潜在的価値への評価という意味では前進であるが，実際の遺伝資源の探索や調査を困難にする要因でもある．遺伝資源の海外探索には二国間での合意が必要となったし，原産国の中には遺伝資源の持ち出しや利用に厳しい制限を科す国も増えている．ジーンバンクとしては，このような最近の国際情勢に十分配慮しながら積極的に国際協力を進め遺伝資源の収集・保存・特性評価・利用の促進に努力している．

平成 14 年度にジーンバンク事業の植物遺伝資源の探索収集および関連研究として，愛知県北部における作物在来品種の調査と収集，房総半島におけるツルマメの探索・収集，奄美大島におけるかんしょ在来種の収集，鹿児島県におけるフダンソウ在来種の調査と収集，沖縄県におけるイチジク属遺伝資源の探索収集，ならびに沖縄県の台湾導入実生茶樹群の収集が国内で実施された．また，豪州における野生稲の探索収集，ミャンマーにおけるマメ類遺伝資源の調査と収集，トルコにおける果樹遺伝資源の探索収集事前調査，ベトナム北部におけるチャ遺伝資源の共同探索収集，ならびに On-farm 遺伝資源保存技術の確立を目的とした韓国におけるゴマとエゴマの調査が海外における探索調査として実施された．

海外遺伝資源の探索収集は今後も困難が予想されるが，関係各位の意見，助言を取り入れて計画的に国内，海外遺伝資源探索を実施する予定である．ご協力をお願いしたい．

最後に，私たちの活動に指導と支援をしてくださった国内外の方々に心から感謝申し上げます．とりわけ多くの情報と貴重な遺伝資源を分譲してくださった農家の皆様には深謝したい．

平成 15 年 3 月
農業生物資源研究所
ジーンバンク長
宮崎尚時

植物遺伝資源探索導入調査報告書（平成 14 年度）

目次

まえがき

生物研・ジーンバンク長 宮崎 尚時

．国内探索収集報告

1．愛知県北部における作物在来品種の調査と収集	1
生物研・ジーンバンク・植物資源研究チーム	江花 薫子
" . " . "	石井 卓朗
2．房総半島におけるツルマメの探索・収集	7
作物研究所・畑作研究部・豆類育種研究室	羽鹿 牧太
" . " . "	高橋 浩司
	平賀 勸
3．奄美大島におけるかんしょ在来種の収集	17
九州沖縄研究・畑作研究部・サツマイモ育種研究室	中澤 芳則
" . " . "	甲斐 由美
鹿児島県大島農業改良普及センター	山方 誠
4．鹿児島県におけるフダンソウ在来種の調査と収集	27
北海道農業研究・畑作研究部・てん菜育種研究室	高橋 宇之
鹿児島県園芸振興協議会	田畑 耕作
北海道農業研究・畑作研究部・てん菜育種研究室	田中 征勝
5．沖縄県におけるイチジク属遺伝資源の探索収集	37
果樹研・遺伝育種部・遺伝資源研究室	薬師寺 博
" . " . "	間瀬 誠子
" . " . "	佐藤 義彦
6．沖縄県の台湾導入実生茶樹群の収集	47
野菜茶業研・茶業研究部・育種素材研究開発チーム	武田 善行
" . " . "	田中 淳一
" . " . "	中原 正實
沖縄県農業試験場・名護支場・果樹茶業研究室	玻名城 晋

海外探索収集報告

1. 豪州における野生稲の探索収集	55
作物研究所・稲研究部・他用途稲育種研究室	平林 秀介
生物研・ゲノム研究グループ・DNAバンク	岩本 政雄
オーストラリア熱帯作物遺伝資源センター	Sally L. DILLON
ノーザンテリトリー準州ダーウィン標本館	Ian D. COWIE
2. ミャンマーにおけるマメ類遺伝資源の調査と収集(2002年10月15日~11月15日)	67
生物研・遺伝資源グループ・集団動態研	友岡 憲彦
国立民族学博物館・地域研究交流企画センター	阿部 健一
ミャンマー中央農業研究所シードバンク	Min San Thein
”	Win Twat
”	John Ba Maw
生物研・遺伝資源グループ・集団動態研	ダンカン・ヴォーン
” . ” . ”	加賀 秋人
3. トルコにおける果樹遺伝資源の探索収集事前調査	85
果樹研・遺伝育種部・遺伝資源研究室	薬師寺 博
生物研・ジーンバンク・上席研究官	長峰 司
4. ベトナム北部におけるチャ遺伝資源の共同探索収集	93
野菜茶業研・茶業研究部・育種研究室	根角 厚司
” . ” . 育種素材開発チーム	大前 英
ベトナム茶業研究所	Nguyen Van THIEP
ベトナム農業科学院植物遺伝資源センター	Dinh The VU
5. On-farm 遺伝資源保存技術の確立を目的とした韓国におけるゴマとエゴマの調査	111
生物研・ジーンバンク	新田 みゆき
作物研・畑作物研究部・資源作物研究室	勝田 真澄
” . ” . ”	安本 知子
韓国江原大学・農業生命科学大学・生命工学部	李 柱炅
韓国農村振興庁・作物試験場・徳用作物課	姜 哲煥
生物研・ジーンバンク・上席研究官	長峰 司

III. 海外植物遺伝資源探索収集チームの派遣実績

IV. 国内植物遺伝資源探索収集チームの派遣実績

Annual Report on Exploration and introduction Of Plant Genetic Resources in FY 2002

Contents

Preface Shoji MIYAZAKI

I. Exploration in Japan

1. Exploration and Collection of Crop Landraces in Northern Area of Aichi Prefecture
 Kaworu EBANA and Takuro ISHII 1
2. Exploration and Collection of *Glycine soja* in the Boso Peninsula, Chiba Prefecture 7
 Makita HAJIKA, Koji HIRAGA and Susumu HIRAGA
3. Exploration and Collection of Local Sweetpotato Varieties in Amami Oshima Island of Kagoshima
 Prefecture 17
 Yoshinori NAKAZAWA, Yumi KAI and Makoto YAMAGATA
4. Exploration and Collection of Swiss Chard in Kagoshima Prefecture 27
 Hiroyuki TAKAHASHI, Kosaku TABATA and Masakatsu TANAKA
5. Exploration of *Ficus* Genetic Resources in Okinawa Prefecture in Japan
 Hiroshi YAKUSHIJI, Nobuko MASE and Yoshihiko SATO 37
6. Collection of Tea Seedlings Introduced from Taiwan in Okinawa Island 47
 Yoshiyuki TAKEDA, Junichi TANAKA, Masami NAKAHARA and Susumu HANASHIRO

II. Exploration in Foreign Countries

1. Exploration and Collection of Wild Relatives of Rice in Australia 55
Hideyuki HIRABAYASHI, Masao IWAMOTO, Sally L. DILLON and Ian D. COWIE

2. Collaborative Exploration and Collection of Cultivated and Wild Legume Species in Myanmar 67
(Oct. 15th ~ Nov. 15th, 2002)
Norihiko TOMOOKA, Kenichi ABE, Min San Thein, Win Twat, John Ba Maw,
Duncan VAUGHN and Akito KAGA

3. Preliminary Survey of Exploration/Collection of Fruit Genetic Resources in Turkey 85
Hiroshi YAKUSHIJI and Tsukasa NAGAMINE

4. Collaborative Exploration of Tea Genetic Resources in Northern Vietnam 93
Atsushi NESUMI, Hide OMAE, Nguen Van THIEP and Dinh The VU

5. Field Survey of *Sesamum* and *Perilla* in Korea for Establishment of On-farm Conservation
Methodology111
Miyuki NITTA, Masumi KATSUTA, Satoko YASUMOTO, Ju Kyong LEE,
Churl Whan KANG and Tsukasa NAGAMINE

. 国内探索収集報告

Exploration in Japan

. 海外探索收集報告

Exploration in Foreign Countries

. 海外植物遺伝資源探索収集チームの派遣実績

・国内植物遺伝資源探索収集チームの派遣実績

植物遺伝資源探索導入調査報告書

通巻第19号

刊行 独立行政法人 農業生物資源研究所
〒305-8602 茨城県つくば市観音台2-1-2
電話 029-838-7458

Published by National Institute of Agrobiological Sciences
Kannondai 2-1-2, Tsukuba, Ibaraki 305-8602
Japan

平成15年10月印刷
Printed in Oct., 2003

印刷 朝日印刷株式会社つくば支社
〒305-0046 つくば市東2-11-15

Annual Report on Exploration and Introduction of
Plant Genetic Resources

Vol . 19

March 2003

National Institute of Agrobiological Sciences